

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-3
子育て支援の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 子ども・子育て支援課長 多根 純 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	みんなで子育て応援事業（こっころ事業）	
目的	(1) 対象	子どもやその保護者、子育て家庭を取り巻く県民
	(2) 意図	誰もが、子どもや子育てに関心を持ち、子育てを社会全体で応援する気運を醸成する
事業概要	子育て家庭や妊娠中の方がいる家庭に対し、協賛店において様々な子育て支援サービスを受けることのできるパスポートを交付する。子育て応援に取り組む民間団体や子育て支援の担い手の活動を活性化するため、当該団体や担い手に対し、活動経費の一部を支援する。メールマガジン「こっころ通信」やしまね子育て応援サイト「こことも」を運営し、スマートフォン対応の子育て情報発信の充実を図る。子育てを社会全体で応援する気運醸成や子育て支援の取組の普及啓発を図るため、特に優れた子育て支援団体等を表彰（こっころ大賞）する。子育てや子ども、家族に関する楽しさ、うれしさや感動などをひとことでも表した「ここのは」作品を募集し、優秀作品を表彰する。乳幼児を連れて家族が安心して外出できる環境を整備するため、おむつ替えや授乳など自由に利用できる施設を登録し周知する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 こっころ事業の協賛店舗数	目標値	2,380.0	2,410.0	2,440.0	2,470.0	2,500.0	店
		取組目標値		2,550.0	2,600.0	2,650.0	2,700.0	
	式・定義 こっころ事業の協賛店舗数（累計）	実績値	2,532.0	2,552.0	2,304.0			
		達成率	106.4	100.1	88.7			
2	指標名 赤ちゃんほっとルーム登録数	目標値	320.0	340.0	360.0	380.0	400.0	箇所
		取組目標値				480.0	500.0	
	式・定義 赤ちゃんほっとルーム登録数（累計）	実績値	299.0	299.0	462.0			
		達成率	93.5	88.0	128.4			

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	5,036	8,534
うち一般財源 (千円)	4,917	8,534

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- こっころパスポート事業のパスポート発行数は累計で10万9千枚に達した。
- 協賛店舗数2,304店舗は、県内小売業事業所数の6,370事業所（H28経済センサスによる）を参考とした場合、約1/3に相当する。前年度からの増減は、廃業・協賛取りやめによる脱退が305店舗（大手コンビニチェーン店舗の取りやめが大きく影響）、新規登録が57店舗となった。
- 赤ちゃんほっとルームは大手コンビニチェーン店舗の一斉加入があり、前年度から163箇所増の462箇所となった。
- こっころ隊の登録団体数は、前年度から6団体増の199団体、こっころ講師の登録数は5人減の137人、講師派遣回数は29年度に32回（のべ46人）となった。
- 「ここのは大賞」には、前年度から15%増となる2,461点の応募があった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 子育てを社会全体で応援するねらいで展開している「こっころ」は、パスポート事業はもとより、島根県の子育て支援の代名詞として広く浸透してきている。
- 作品募集開始から17年目を迎えた「ここのは」は、学校での授業で取り入れられ、30年度には民間活用（アウトソーシング）を開始して作品募集・協賛募集のPRを強化するなど、地域全体で子育てを応援する機運の醸成に大いに寄与している。
- こっころ講師登録派遣事業について、講師を各地に広く派遣できるよう、講師ごとの年間派遣回数の上限を撤廃するとともに、同じ団体が連続して同じ講師を招へいする場合に連続3回までと制限するよう改善を図った。
- 赤ちゃんほっとルーム登録について、目を引く新ステッカーを導入し、子育て応援サイト「こことも」を活用してPRを図った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- こっころ協賛店舗数が目標値に対して増えていない。
- 子育て応援サイト「こことも」の活用が進んでいない。

②困っている状況が発生している「原因」

- こっころ協賛店舗募集の呼びかけが十分でなく、協賛店舗の申し込みが低調となっている。
- 「こことも」の発信内容や周知がまだ十分でない。

③原因を解消するための「課題」

- 協賛店舗の増加に結びつくような効果的な募集を行う必要がある。
- 「こことも」の発信内容のさらなる充実と周知を図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 「こっころ」の知名度を活かして子育て支援の輪を広げていく（量的拡大）とともに、「こっころ」のイメージやネットワークを活かした取組を実施することで、効果的かつ相乗的な事業展開を図る（質的向上）。
- こっころパスポート事業：「子育てを社会全体で応援する」という趣旨が賛同を得て、協賛店舗の増加に結びつくよう、店舗のサービスを募る他の公的・民間制度も参考にしながら、こっころ協賛店の募集に取り組んでいく。また、少子化対策に有効な事業として更に機能を発揮するため、多子世帯向け支援とする展開が可能かどうか、協賛店舗の意向も踏まえつつ検討していく。
 - 子育て応援サイト「こことも」による情報発信事業：「こことも」の内容充実を図るため、掲載情報を収集する仕組みを強化する。
 - ここのは大賞：子育て支援の機運醸成に大きな役割を果たしており、民間活用（アウトソーシング）の初年度の結果も踏まえ、応募数が増加するよう改善を加えつつ継続していく。